かつらぎ小ニュース

No.２６３（校長室だより）
令和２年５月号
貝塚市立葛城小学校

☆☆教科書を中心に予習をしてみましょう！☆☆

前庭や運動場の彩りは、華やかな桜の花から緑の木々へと変わってきました。しかしながら、学校の変わりゆく風景を子どもたちに感じてもらうことができず、臨時休業が続いており、大変心苦しく思います。

先月末には、家庭訪問にご協力いただき、ありがとうございました。子どもたちの様子を聞かせていただきましたが、特に大きな問題はなく、少しホッとしている反面、今後も友だちといっしょに元気に外で遊んだり、教室で勉強することがなかなかできないのは、残念で仕方ありません。

学習面の遅れも気になるところだと思いますが、授業再開に向けて少しでも準備ができるよう、課題をしっかり行うとともに、できれば予習をしてほしいと思います。

予習は復習よりも優れた点があります。それは「自分でわからないことを切り開いていく力がつきやすい」ことです。以下に予習をするポイントを紹介しますので、参考にしながら、ぜひ予習にチャレンジしましょう。

①必要なものは教科書とノートだけです。

小学校で勉強する内容は、全て教科書に書いてあります。教科書は、何段階ものチェックを受けながら、最も分かりやすい書き方を考えて作られています。どんな参考書も、教科書にはかないません。ですから、予習で一番必要なものは教科書です。教科書を読んだ後、問題を解いたり、内容をまとめたりするものが必要になります。予習専用のノートを準備します。ただ、わからない言葉や漢字の意味を調べたりするのに、３年生以上であれば、辞書があれば便利です。また、高学年ではネットの活用もいいでしょう。

②基本的には教科書を音読し、大切だと思ったことをノートにまとめたり、書き写したりします。

わからないことは、お家の人に聞くか、辞書などで調べましょう。それでもわからなければ、無理はしないでノートにわからないことといて書いておき、わかったら書き足しましょう。

③教科によって、少し学習内容を変化することも大切です。

国語は、音読の回数を増やし、漢字や意味調べが大切です。また、登場人物の気持ちを考えたり、説明文なら、作者が言いたいことは何なのかをまとめるのもいいでしょう。

算数は「問題を投げかける→具体的な問題→解き方→練習問題」という流れで作られています。多くの場合は解き方と答えまでのっているので、ゆっくり読んでみましょう。理解できたと思えば練習問題にチャレンジしますが、わからない場合でも「何の勉強をするのか」については、ノートにまとめることができます。

この状況だからこそ、これを機会に予習に取り組むことができれば、「復習＋予習の家庭学習セット」が完成して、中学校以降にも通じる家庭学習が身につきます。がんばりましょう。

検温をよろしくお願いします

緊急事態宣言の延長により、臨時休業も５月３１日まで延長になりました。延長期間中もに登校日を設けることができれば、また、メールやＨＰでお知らせしますが、登校日及び学校再開から一定の期間は、毎日検温していただき、健康カードに記入してほしいと思います。

検温できていない場合は、別室にて検温を行い、平熱であると確認できるまで、教室に入らない措置をとります。毎朝検温する習慣を身につけ、学校再開に備えるようご協力をお願いいたします。

時間を決めて学習をしましょう

家庭においても、学校と同じように、例えば「４５分学習して、１５分休憩し、次の４５分は運動し…」のように、一日の学習時間を毎日同じように設定し、生活リズムを整えるようにご協力をお願いします。

教育相談お受けします

臨時休業措置が続く中で、子どもたちや、ご家庭の日常生活が大きく変わる事態となっていますが、子どもたちの心や体に影響がでてくることも考えられます。

お子さんのことで心配な事や相談したいことがありましたら、遠慮なく学校へ連絡してください。相談内容については守秘義務が厳守されますのでご安心ください。

また、下記の学校外の相談機関もあります。

児童からの相談「すこやかホットライン」　06-6607-7361
保護者からの相談「さわやかホットライン」06-6607-7362
貝塚市の相談室　433-7110または0120-222-674

葛城小学校のホームページに、学校の様子などをアップして随時更新しています。ぜひ、ご覧下さい。